

旧中島地区被爆遺構に関する証言者の募集結果

旧中島地区被爆遺構確認調査で出土した住居跡の被爆前又は被爆当時の状況等に関する情報を収集し、展示にいかすため、平和記念公園における旧中島地区被爆遺構の展示整備に関する懇談会において直接証言していただける被爆当時の住民等を募集した。

- 1 証言者としての条件
- 次のいずれにも該当する者とする。
- なお、応募条件を満たしていない方からの情報提供も募った。
- ア 被爆前又は被爆当時の旧天神町筋沿いの街並み等について記憶のある方で、本市が開催する懇談会に出席し、被爆前又は被爆当時の旧天神町について証言していただける方
- イ 氏名、生まれ年、被爆前の住所、証言内容について、公表に同意していただける方

- 2 募集期間
- 令和元年 1 1 月 8 日（金）～令和元年 1 1 月 2 5 日（月）

- 3 応募者・情報提供者数
- 3 名

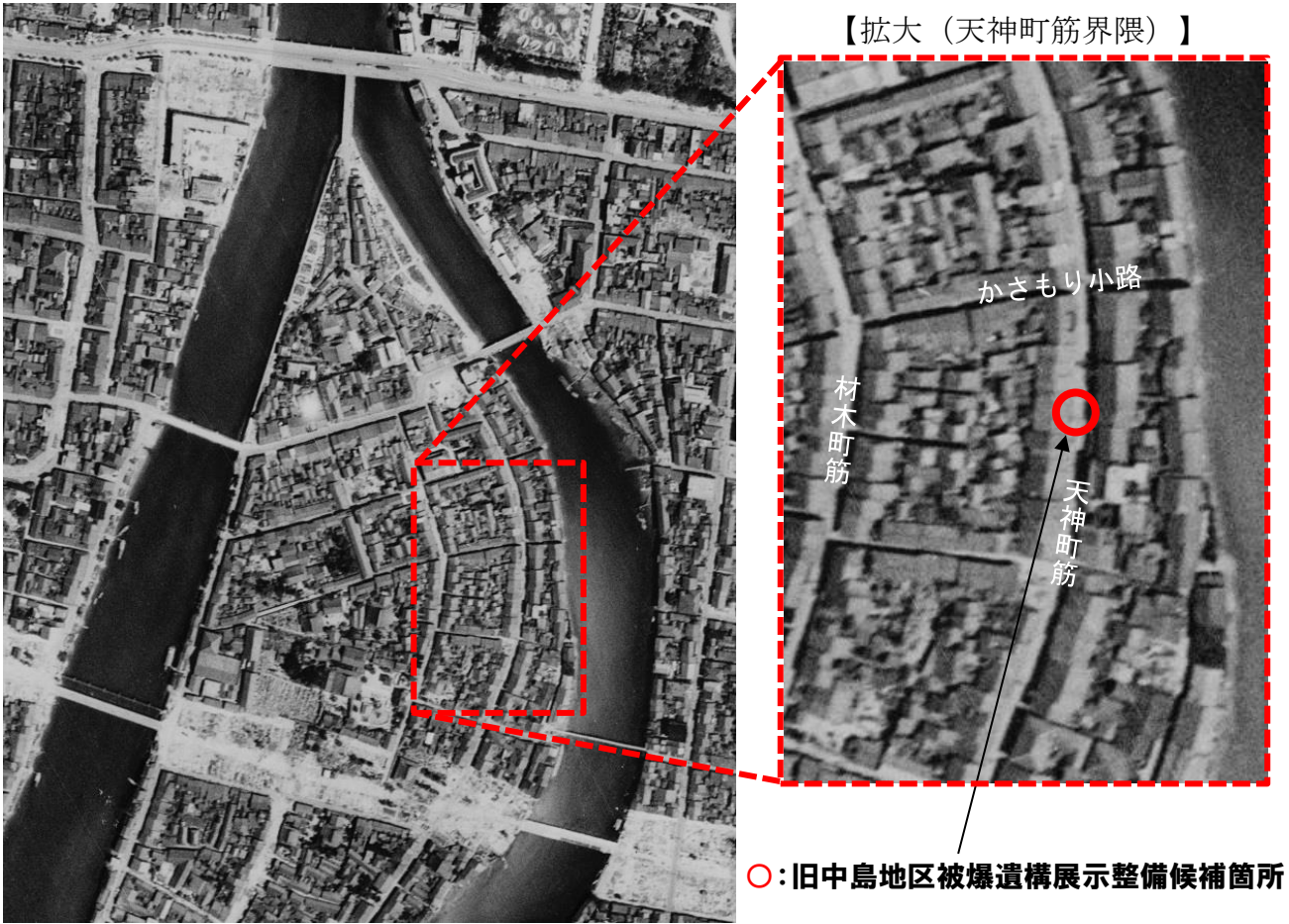
4 証言内容

No.	氏名 (敬称略)	生まれ年	被爆前の 住所	証言内容
①	非公表	昭和 4 年	材木町	私は被爆の日まで材木町 60 番地の 1 に住んでいました。今は町名すら残っていませんが、今の原爆慰霊碑から資料館の先まで材木町で大勢の人が普通に暮らしていました。地域の大人たちの世話でラジオ体操。亥ノ子祭り、バレーボール位の石にナワをかけて地面をたたく奇妙なまつり。1 番の繁華街スズラン燈の美しい活気のある商店街だった。材木町にも町筋に米屋、帽子屋、ちょうちん屋、時計屋、ビリヤード、喫茶店、劇場などが立ち並ぶ広島一番の繁華街があった。
②	非公表	昭和 4 年	天神町	天神町筋と材木町筋の間を通っていたかさもり小路に多くの思い出がある。かさもり小路を水着のまま川に遊びに行っていた。川筋にあった天城旅館にお相撲さんが泊まっているのを見に行った思い出。神戸屋のパン屋の思い出。かさもり小路で、こま回し、メンコで遊んだ思い出。川筋の銭湯、その前のうなぎ屋の思い出。節分でまめまきがあった話。ちんどん屋に付いて行き迷子になった話等かさもり小路あたりの思い出がたくさんある。
③	森川高明	昭和 14 年	天神町	天満宮から燃料会館へと続く「天神町筋」は繁華街ではなく木造家屋が軒を連ねる普通の街でした。軍用旅舎「天城旅館」だけは一部三階建、大きな門構、威風堂々の姿を誇っていました。その二軒北には、「進藤小児科」があり父の日記に隣組常会がそこで開かれたとあります。街並み復元図のほとんどのお宅が短冊形となっていますが、専門家による遺構候補地「加藤材木店」の位置と形状の精査、加藤家の生と死の物語の検証が是非必要です。

※上記の証言内容については、表記を微修正した箇所があります。

被爆前の中島地区周辺の写真

(1 9 4 5 年 7 月 2 5 日 米軍撮影 米国国立公文書館所蔵)



※この図は、およその位置を示したものである。

(写真提供／広島平和記念資料館)